

シラバスデータ		2023/4/1
科目名	基礎光学	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	生理光学の学習を円滑にするために必要な基礎の光学知識を身につける
学年	1年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期	視能訓練士に必要な物理学的知識を学習し、特にレンズ計算に必要な光学系の波動、波の性質、光の特性の基本的なところを重点的に学習する
授業回数	8回	
授業形態	講義	授業終了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	1単位	生理光学を理解するための基礎となる物理学の法則、特に幾何光学について学ぶ
授業担当者	☆佐野 智久 太田 陸	
実務家教員	○	総合病院・診療所における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	レジュメ	
評価方法	授業態度、出席率、テストによる総合評価とする。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	オリエンテーション	見える仕組みを学習する
2	光の基本性質 光の三原色・色の三原色	光(可視光線)、周波数、波長について学習する 光の三原色、色の三原色について学習する
3	光の反射 光の屈折1	光の反射、法則について学習する
4	光の屈折2	光の屈折と全反射について学習する
5	凸レンズと凹レンズ	レンズの作図、実像、虚像について学習する
6	組み合わせレンズ	2枚のレンズを使った、像について学習する
7	屈折異常とレンズの関係	遠視、近視のレンズについて学習する
8	テストと解答解説	テストと解答解説を行う

科目名	現代倫理	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	本学の建学の精神・校訓・教育方針を具現化するための授業。 倫理を基本とした全人教育としての本科目を履修することにより、社会人としての心構え、グローバルな教養を身に付け、有意な人材となることを目指す。
学年	1年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	通年	社会におけるさまざまな規範の根拠について、哲学の誕生から宗教の発展、現代の動向を講義や演習、グループワークを通して学ぶ
授業回数	30回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	4単位	この授業を学ぶことにより、倫理学の基本的な考え方を身につけ、自己実現を果たすために自分が社会にどのような価値を与えられるかを考え、自己が成長を実感できるようになることを目指す。
授業担当者	齋藤 照安	
実務家教員	○	高等学校校長及び専門学校校長としての実務経験
使用テキスト 参考文献	参考資料: 本学「学生の手引き」 CANジャーナル(本学機関誌)、「現代の倫理」(山川出版社)、「ディープな倫理」、「倫理 愛の構造」(東京大学出版会)、オリジナルプリント	
評価方法	前期・後期の試験結果、授業態度、出欠状況を加味した上で、学生の手引きに基づいて評価する。	

コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	授業「現代倫理」の趣旨	倫理、道徳、哲学を学ぶ意義
2	日本の道徳教育と問題点	日本の道徳教育と問題点
3	倫理の意味	建学の精神、倫理の意味
4	人間としての自覚	生きがい・モラリストの人間関係
5	古代ギリシャの哲学	タレス、ソクラテス、プラトン、アリストテレス
6	イギリス経験論と大陸合理論	ベーコン、デカルト、カント
7	ドイツ哲学の全盛期	ヘーゲル、ショーペンハウエル、ニーチェ
8	現代世界への挑戦	ダーウイン、マルクス、デューイ、サルトル
9	古代中国の思想家	諸子百家、孔子、孟子
10	老荘思想	老子(自然の道) 荘子(自由の精神)
11	日本の経営者(1)	松下幸之助 日本式経営と哲学の創出

コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
12	日本の経営者(2)	稲盛和夫 日本航空を再生させた「フィロソフィ」と「アメーバ経営」
13	日本の経営者(3)	鈴木敏文 「ブレない視点」をもつ、「シンプル思考」に徹する、心を揺さぶる「伝え方」
14	前期のまとめ	1回目から8回目
15	前期のまとめ	9回目から13回目
16	前期試験	
17	読書のすすめ	読書のすすめの考え方
18	キリスト教	キリスト教の開祖(イエス・キリスト)
19	自身の倫理観を見つめる	童門冬二著PHPより「品格と風土」を読み、考えをまとめる
20	イスラーム教	イスラーム教の開祖(ムハマンド)
21	仏教	仏教の開祖(ブツタ)
22	倫理の発展	現代社会に求められる倫理学 朱子・墨子(戦争否定論)
23	戦争と平和(1)	日本の歩んだ道
24	戦争と平和(2)	戦争後の日本の思想
25	戦争と平和(3)	社会契約説
26	奉仕とボランティア	奉仕活動の意味
27	社会学の理念	社会学とはなにか
28	人間関係について(1)	若者にとっての人とのつながり
29	人間関係について(2)	人間関係によるストレス
30	社会をつくる 家族の絆とは何か	現代社会と社会運動 親子の関係、核家族化
31	後期のまとめ	17回目から30回目のまとめ
32	後期試験	

シラバスデータ		2022/4/1
科目名	心理学	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	心理学の理論を理解し、心理的支援力を高める。
学年	1年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期	心理学を身近なものとしてとらえられるようにし、それを自身の生き方に活かしていけるようにすることを目標とし、心理的配慮などを考慮した考え方もできるように学習する
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	視能訓練士としての心理学的なスキルと資質を身につける
授業担当者	土屋廣人	
実務家教員	○	児童相談所における臨床心理士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	社会福祉学習双書 2022 心理学 心理学理論と心理的支援(全社協)	
評価方法	授業態度、出席率、テストによる総合評価とする。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	ガイダンス	心理学を学ぶ理由
2	自己理解 I	自己理解と他者理解
3	心理学歴史	現代心理学の潮流
4	脳について1	脳の構造
5	脳について2	知覚と認知
6	脳について3	発達と学習
7	脳について4	知能とは
8	発達課題とは	愛着について
9	人と環境	アセスメントについて
10	観察について	行動観察の手法
11	自己理解 II	性格検査
12	ケアリングとは	ケアリングとカウンセリングについて
13	事例問題1	今日の問題1
14	事例問題2	今日の問題2
15	振り返り・まとめ	授業の振り返りを行い、学びの定着を図る

シラバスデータ		2022/4/1
科目名	ペン字	
年度	令和5年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	日ごろから正しい文字を書く習慣をつけ、実社会においても読みやすく美しい字が書けるようにする。
学年	1年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	通年	書に関する理論的なことも実技と合わせて学習しながら、文部省認定の硬質書写技能検定3級合格を目指す。
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	文部省認定の硬質書写技能検定3級合格を目指す。
授業担当者	澤本 美佐乃	
実務家教員	×	
使用テキスト 参考文献	テキスト:『硬筆書写検定3級合格のポイント』日本習字普及協会 ノート:方眼、縦罫線、横罫線、無地の4種類を使用。検定対策については、随時過去問題プリントを配布する。葉書、和紙等の素材も使用。	
評価方法	授業態度、提出物、学期末試験の成績、検定取得状況で総合的に評価する。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	オリエンテーション	学習の準備と要点、楷書の基本
2	基本点画	文字の線のルールについて
3	平仮名と片仮名について	平仮名、片仮名の基本練習
4	楷書	字形のルール、筆順、漢字の部首名
5	実用書式練習①	横書き文章の作成 アルファベット、数字の基本練習
6	実用書式練習②	ハガキの宛名の書き方
7	楷書と行書	楷書と行書の書き分け
8	実用書式練習③	漢字、仮名交じり文(縦書き)の練習①
9	実用書式練習④	漢字、仮名交じり文(縦書き)の練習②
10	実用書式練習⑤	ポスター作成
11	理論問題対策①	草書を読む
12	理論問題対策②	草書を読む。常用漢字の訂正。部首名。筆順問題
13	総合テスト対策①	硬筆検定三級の実技問題、理論問題のプレテスト①
14	総合テスト対策②	硬筆検定三級の実技問題、理論問題のプレテスト②

15

総合テスト対策③ 硬筆検定三級の実技問題、理論問題のプレテスト③

シラバスデータ		2022/4/1
科目名	教育学	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	人間の発達にとって教育が持つ重要性を明らかにする
学年	1年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期	教育の意味を考えながら、人間の発達にとって教育作用を理解し基礎知識の習得をめざし、医療従事者として生涯にわたり学び続ける必要があることの重要性を学ぶ。
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業終了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	人間の成長発達にとって、教育が重要であることを理解する 医療従事者として生涯にわたり学び続ける必要性を理解する
授業担当者	後藤 明子	
実務家教員	×	
使用テキスト 参考文献	絵で見る教育学入門 その他、資料は適宜プリントで配布する	
評価方法	授業態度、出席率、テストによる総合評価とする。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	教育とは何か	授業ガイダンス/教育(学)の目的・役割・必要性
2	子どもとはなにか	「子ども」という独自の文化を持った存在について捉えなおす
3	教育の始まりと発展①	古代～中世の教育観・子ども観について
4	教育の始まりと発展②	近現代の教育観・子ども観について
5	社会と学校と家庭	学ぶ場としての学校・社会・家庭の役割について
6	教育と国家	教育と国の関係性、学校教育制度
7	発達とアイデンティティ	人間の発達と、自己の確立、人権について
8	ジェンダーとマイノリティ	教育における男女格差やエスニック・マイノリティ、障害児について
9	日本の社会の変化と子ども	社会の変化に従い、子ども、親子関係がどのように変化してきたのか
10	若者という存在	若者・青年の定義、社会における位置づけと、アイデンティティについて
11	教育とメディア	子どもを取り巻くメディアについて
12	学び続ける学習者	生涯学習について
13	現代の教育問題①	虐待や多様性などの、子どもに関わる社会問題を取り上げる
14	現代の教育問題②	いじめや様々な学びの形などの、教育に関わる社会問題を取り上げる
15	まとめ/テスト	授業のまとめ テストの実施

科目名	キャリア教育	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	キャリア教育では、働く意義や職業の考え方から職業人としての心構えを身につける。
学年	1年	
コース	-	授業全体の内容の概要
開講時期	前期	今後職業人として活躍するために必要なスキルを身につける。
授業回数	8回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	1単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事の目的意義、職業人の概念を知り、職業人としての意義、姿勢を知る。</li> <li>・職業と社会の関係、位置づけや役割を知り、組織や社会の一員としての責任を知る。</li> <li>・社会人常識マナー検定3級の取得を目指す。</li> </ul>
授業担当者	原木伴美	
実務家教員	×	
使用テキスト 参考文献	社会人常識マナー検定テキスト2・3級	
評価方法	授業態度、出席率、課題提出、検定取得状況による総合評価とする。	

コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	オリエンテーション	科目の意義、目標を理解し、検定取得を目指す意欲を身につける。
2	社会常識	社会人として必要な常識や心構えを学ぶ。
3		
4	コミュニケーション	良い人間関係を築くための意思伝達スキルを学ぶ。
5		
6	ビジネスマナー	社会人としてのたしなみ、幅広いビジネスシーンに対応できるふるまい方を身につける。
7		
8	まとめ	7回の授業で学んだ、初歩的な仕事を処理するために必要な知識やビジネスマナーを復習し、習得の定着を図る。



シラバスデータ		2022/4/1
科目名	解剖生理学	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	人体の構造と機能について、解剖・生理を学ぶ
学年	1年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	通年	眼科を学ぶ基礎知識として、正常な人体の働きを知り、基本的な疾患の理解する
授業回数	30回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	4単位	眼科を学ぶ基礎として、運動器(筋、骨格)と神経系の各部位の名称や相互関係・構造について理解している
授業担当者	松岡 哲平	
実務家教員	○	総合病院における医師(内科医)としての実務経験
使用テキスト 参考文献	人体の構造と機能 (医学書院)	
評価方法	授業態度、出席率、テストによる総合評価とする。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1.2	総論(人体の機能と構造とは)	人体の構造と機能について学ぶ。
3.4	感覚器	感覚器について学ぶ。
5.6	循環器	循環器について学ぶ。
7.8	腎臓・泌尿器科	腎臓・泌尿器科について学ぶ。
9.10	肝臓・胆嚢・すい臓	肝臓・胆嚢・すい臓について学ぶ。
11.12	消化管	消化管について学ぶ。
13.14	生殖器	生殖器について学ぶ。
15.16	内分泌	内分泌について学ぶ。
17.18	神経系総論	神経系総論について学ぶ。
19.20	中枢神経・末梢神経	中枢神経・末梢神経について学ぶ。
21.22	呼吸器	呼吸器について学ぶ。
23.24	運動器	運動器について学ぶ。
25.26	心身の発達と加齢①(幼年期から青年期)	人体の構造と機能について学ぶ。
27.28	心身の発達と加齢②(成人期から高齢期)	人体の構造と機能について学ぶ。
29.30	総復習	今まで行われた学習のまとめ
31	筆記試験と解答・解説	筆記試験と解答・解説を行う。

シラバスデータ		2023/4/1
科目名	解剖生理学演習	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	講義で学んだ人体の構造と機能をより理解を深める
学年	1年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期	視能訓練士に必要な解剖・機能・心身の発達を学び、グループ演習による模型・作図・心理発達検査・高齢者疑似体験を行い理解を深める。
授業回数	8回	
授業形態	演習	授業終了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	1単位	模型などを見て、名称・構造を理解し、演習をすることにより、模型・作図・心理発達検査・高齢者疑似体験を行い理解を深める。
授業担当者	佐野 智久	
実務家教員	○	総合病院・診療所における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学(文光堂)	
評価方法	授業態度、出席率、課題提出による総合評価とする。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	演習の進め方	眼の模型などを使い、実際にどのように演習を進めていくか、確認していく
2	眼の作図	教科書、眼の模型などを使い、眼の作図をしていく
3	視覚の発達1	眼の発達を教科書などを使い理解していく
4	視覚の発達2	視覚の発達を教科書などを使い理解していく
5	解剖まとめ	眼の全体の構造を教科書、模型を使い、理解を深める
6	疑似体験	視覚の悪い状態を体験して、どのように見えるのか学んでいく
7	解剖のまとめ	解剖、視覚の状態を教科書、模型を使い理解を深める
8	レポート作成	眼の解剖の発達を総合的にまとめて、レポートにもらう

シラバスデータ		2022/4/1
科目名	保育学	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	視能訓練士として、検査・訓練の対象である小児の特性を保育の面から理解する
学年	1年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期	視能訓練士は、子どもの心身の発達を理解し、発達や心理に合わせた検査や訓練を行う必要がある。そのため、子どもの心身の発達を理解し、特に支援方法を学んで、人間関係の在り方を考える
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業終了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	子どもの成長・発達に応じた支援や対応の仕方について、基礎的な理解を深めることができる
授業担当者	杉山有美	
実務家教員	○	幼稚園・保育園における幼稚園教諭及び保育士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	プリント配布	
評価方法	授業態度、出席率、テストによる総合評価とする。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	オリエンテーション 子どもの発達を理解する	授業ガイダンス・子どもにかかわる諸問題
2	子どもの発達と環境	発達の原則とその特徴
3	子ども親と発達理論からの視点	子ども親とは・発達理論からの視点
4	社会情動的発達	人間がもつ欲求・アタッチメントの問題
5	身体機能と運動機能の発達	身体機能の発達・月齢ごとの運動機能の発達
6	認知の発達	認知の一般的な発達過程・ピアジェの発達理論
7	言語の発達	言語に関する一般的な発達傾向・言語の障害
8	アセスメント	アセスメントとは・発達に遅れや偏りがある子どもの理解と支援
9	0, 1, 2歳の発達	0歳児期の発達・1歳児の発達・2歳児の発達
10	3, 4, 5歳の発達	3歳児の発達・4歳児の発達・5歳児の発達・就学に向けて
11	学童期から青年期までの発達	就学するということ・学童期の発達・青年期の発達
12	成人期から老年期までの発達	成人期の発達・老年期の発達
13	乳幼児期の学びに関する理論	学習理論・子どもが学びやすい環境
14	乳幼児期の学び(遊び)の過程	遊びの意味・遊びの分類と特徴・遊び方の変化
15	特性に応じた理解と対応	事例検討を行い対応を考える

シラバスデータ 2023/4/1

科目名	病理学	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	・疾患の理解を深めるために、分子・細胞レベルでの病態・生理について学ぶ。
学年	1年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	後期	・視機能療法の実践に必要な各種疾病の病因、病態、病理を理解するとともに、各疾病の病態や診断の把握に必要な基本的知識を学習するとともに回復の過程を理解する。 ・代謝異常症、循環障害、炎症、免疫、腫瘍などを中心に学習する。
授業回数	8回	
授業形態	講義	授業終了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	1単位	・人体の組織、細胞障害とその修復について理解する。 ・代謝障害、循環障害、炎症、免疫、腫瘍について理解する。 ・各臓器の主な疾病とその症状について理解する。 ・国家試験レベルの事項とともに、チーム医療を担う医療人としての基礎的能力を習得する。
授業担当者	松岡 哲平	
実務家教員	○	総合病院における医師(内科医)としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学 第2版(文光堂)・図解メディカルサイエンスシリーズ よくわかる病理診断学の基本としくみ(秀和システム社)	
評価方法	授業態度、出席率、テストによる総合評価とする。	

コマシラバス

90分/コマ	テーマ	内容
1	病理の概論	病理学とはなにか？ひとはなぜ病気にかかるのか？
2	異常とは	遺伝子異常と発生発達異常
3	代謝障害 I	細胞の障害と修復のしくみ、代謝障害 I
4	代謝障害 II	代謝障害 II、循環障害
5	炎症	炎症
6	腫瘍	腫瘍とはなにか、癌の病理診断
7	病原体	病原体が身体を侵し死に至らしめる機序(インフルエンザ、エイズ等)
8	まとめ、テスト	まとめ・振り返り、テスト

シラバスデータ 2022/4/1

科目名	臨床医学概論	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	人体の構造、生理機能、病気のメカニズムなどの医学を学ぶ。
学年	1学年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期	人体の構造、生理機能、病気のメカニズムなどの医学をできるだけ幅広く学ぶ。医療従事者として以外にも、普段の実生活で健康に過ごしていく上で必要な知識や興味深い事柄を授業で紹介していく。 解剖学での知識を十分に持った上でビデオ等の教材を使用し更に理解を深める。
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	医療従事者として、実務上必要な知識や医療の背景の理解を深めることを目指す。
授業担当者	松岡 哲平	
実務家教員	○	総合病院における医師(内科医)としての実務経験
使用テキスト 参考文献	基礎医学(建帛社)	
評価方法	授業態度、出席率、テストによる総合評価とする。	

## コマシラバス

90分/コマ	テーマ	内容
1	外科疾患	外科で扱う疾患を学ぶ
2	麻酔、臓器移植	麻酔、臓器移植について学ぶ
3	呼吸器、循環器	呼吸器、循環器疾患について学ぶ
4	消化器	消化器疾患についてまなぶ
5	肝臓、胆のう、膵臓、脾臓	肝臓、胆のう、膵臓、脾臓の疾患について学ぶ
6	乳腺、内分泌	乳腺、内分泌疾患について学ぶ
7	泌尿器科	泌尿器科疾患について学ぶ
8	整形外科	整形外科疾患について学ぶ
9	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科の疾患について学ぶ
10	眼科	眼科の疾患について学ぶ
11	小児診断	小児の診断について学ぶ
12	小児特有の疾患	小児特有の疾患と治療について学ぶ
13	高齢者について	高齢者の診断、特有の疾患と治療について学ぶ
14	産科、婦人科	産科、婦人科でおこなわれる診断について学ぶ
15	画像診断	画像診断について学ぶ

科目名	健康と保健	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	医療人として必要な知識と自己の健康のセルフコントロールができるようになる。
学年	1	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期	健康及び疾病の予防の基本的知識を学ぶ。また、自らの健康と疾病の予防についても理解を深める。健康の維持、重篤な疾病の予防として救急法についても学ぶ。
授業回数	15	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身の健康に関心を持ち、理解を深める。</li> <li>・医療従事者として、人々の健康増進や健康回復を支援するための基礎知識を修得する。</li> </ul>
授業担当者	三嶋秀子	
実務家教員	○	総合病院における看護師・精神保健福祉士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	保健と健康の心理学 ～ポジティブヘルスの実現～ (ナカニシヤ出版)	
評価方法	授業態度、出席状況および学期末試験の成績で総合評価する。	

## コマシラバス

90分/コマ	テーマ	内容
1	授業の導入	授業概要説明 健康とは
2	感情と健康のメカニズム	感情と健康のメカニズム
3	精神機能	精神機能とは
4	認知と行動のメカニズム	認知と行動のメカニズム
5	健康と感情について	健康と感情
6	ストレスについて	ストレスについて (怒り・攻撃)
7	うつ・不安について	うつ・不安
8	健康行動	社会的感情と健康行動
9	心的外傷体験と健康	心的外傷体験と健康
10	生活習慣とは	生活習慣の見直し (喫煙・飲酒・食行動)
11	睡眠と身体活動	睡眠と身体活動 女性の健康
12	健康への予防的アプローチ	健康と医療 健康への予防的アプローチ (ポジティブヘルス)
13	感染症について	感染症の理解と対応方法

14	救急時の対応	救急時の対応 国家試験で出題された問題について
15	試験	試験

科目名	視器の解剖・生理・病理学	
年度	2022年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	視器の解剖・生理・病理学の基礎を習得する。
学年	1学年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	通年	眼球ならびに眼瞼・外眼筋・涙器などの解剖・生理・病理について学習し、眼科学の基本を習得する。
授業回数	30回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	4単位	眼球周辺の付属器の機能を知って、眼球が感覚器として維持している仕組みを理解する。 視覚は眼と脳とが密接に関係をもちながら機能していることが判断できる。 光を透過させる眼球内容物について把握できる。
授業担当者	星野 貴大	眼科疾患の病態を解剖・生理学の知識と結びつけて理解できる。
実務家教員	○	総合病院における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学 第2版(文光堂) 標準眼科学 第13版(医学書院)	
評価方法	授業態度、出席率、テストによる総合評価とする。	

## コマシラバス

90分/コマ	テーマ	内容
1,2	眼球の解剖・生理・病理	視覚器の構成について学ぶ
3,4		角膜・強膜の解剖・生理について学ぶ
5,6		ぶどう膜の解剖・生理について学ぶ
7,8		房水・隅角の解剖・生理について学ぶ
9,10		水晶体の解剖・生理、眼圧について学ぶ
11,12		硝子体・網膜の解剖・生理について学ぶ
13,14		網膜の構造と特殊部位について学ぶ
15		中間試験と解答・解説
16	眼球付属器の解剖・生理・病理	眼瞼の解剖・生理について学ぶ
17,18		結膜・涙器の解剖・生理について学ぶ
19,20		外眼筋の解剖・生理・作用について学ぶ
21,22		眼窩の解剖・疾患について学ぶ
23,24	視神経・視路 眼球血管系の解剖	視神経の解剖・生理について学ぶ
25,26		視路と血管系の解剖・生理について学ぶ
27,28		眼窩先端部の解剖・疾患について学ぶ
29	視器の発生	眼の発生について学ぶ
30	期末試験と解答・解説	筆記テストと解答・解説を行う



科目名	視覚機能学基礎	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	眼球運動、視力の発達について理解する。
学年	1学年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期	外眼筋の特徴、作用、眼球運動の法則、小児視力の特徴、視力の発達、弱視について学ぶ。
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業終了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	外眼筋の解剖を理解し各外眼筋の作用を説明できる。 眼球運動の法則を挙げ、それぞれを説明できる。 視力の発達と弱視について説明できる。
授業担当者	鈴木 ほまれ	
実務家教員	○	大学病院・総合病院における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学 第3版(文光堂)、視能矯正学 第3版(金原出版)	
評価方法	定期試験(筆記試験)で評価する	

## コマシラバス

90分/コマ	テーマ	内容
1	眼球運動	外眼筋の種類と走行
2		外眼筋の作用と神経支配
3		眼球運動の法則
4		眼球運動の法則
5		輻湊と開散
6		調節と輻湊(Ac/A比)
7		調節と輻湊(Ac/A比)
8	視力の発達	視力の発達と感受性期
9		小児視力の特徴
10	弱視	弱視の種類と原因
11		弱視の種類と原因
12		弱視の種類と原因
13	心因性視覚障害	心因性視覚障害の原因と臨床所見
14	まとめ	これまで学んだポイントを確認する
15	定期試験と解答解説	筆記試験にて知識の確認・解答解説

シラバスデータ		2023/4/1
科目名	視覚機能学基礎演習	
年度	2022年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	視覚検査の基礎である様々な視野検査について学ぶ
学年	1学年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	後期	視覚機能検査機器の原理と操作を学習する。グループでの演習により検査・測定方法の基礎理論と基本的技術の習得を目標とする。また、障害を総合的に検出することを演習し、技術を習得する。適宜演習課題を指示する。
授業回数	30回	
授業形態	演習	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	4単位	各種視覚機能検査機器の原理の概略が説明できる。 機器を用いて検査・測定ができる。 総合的に障害を検出できる。
授業担当者	星野 貴大 太田 陸	
実務家教員	○	総合病院・診療所における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学 第2版(文光堂)	
評価方法	授業態度、出席率、実技試験、筆記試験による総合評価とする。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	Humphrey視野計 Goldmann視野計 Amslerチャート Mチャート 中心フリッカー (講義)	Aグループ: Humphrey視野計、Goldmann視野計 Bグループ: Amslerチャート、Mチャート、中心フリッカー
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11	Humphrey視野計 Goldmann視野計 Amslerチャート Mチャート 中心フリッカー (実技演習)	ペアでお互いの検査を行う。 ※眼科外来を想定しての実習となるため、常に言葉遣い・患者説明等しっかり行うこと。
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21	Humphrey視野計 Goldmann視野計 Amslerチャート Mチャート 中心フリッカー (実技演習)	ペアでお互いの検査を行う。 ※眼科外来を想定しての実習となるため、常に言葉遣い・患者説明等しっかり行うこと。 実技チェック ①Goldmann視野計、Humphrey視野計 ②Amslerチャート、Mチャート、中心フリッカー
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
28	実技試験・講評	実技試験を行う。その後講評。
29	実技試験・講評	実技試験を行う。その後講評。
30	筆記試験・まとめ	筆記試験を行う。その後まとめ。

シラバスデータ		2023/4/1
科目名	生理光学	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	視能訓練士として必要な屈折矯正における調節、眼鏡、コンタクトレンズなどの知識を身につけることを目的とする。
学年	1年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期	眼球の光学的な役割と理解を深める。屈折矯正に必要な調節、眼鏡、コンタクトレンズなどについて学習する。
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・眼球光学系を説明できる</li> <li>・近視、遠視、乱視の定義と症状を説明できる</li> <li>・不同視の定義と症状を説明できる</li> <li>・老視の定義と症状を説明できる</li> </ul>
授業担当者	太田 陸	
実務家教員	○	診療所における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学(文光堂)、屈折異常とその矯正(金原出版)	
評価方法	筆記試験で評価する。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	光の性質・プリズム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光の性質について学ぶ。</li> <li>・プリズムの構造、プリズムジオプトリーについて学ぶ。</li> </ul>
2	レンズの光学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レンズの種類やはたらきについて学ぶ。</li> <li>・レンズの収差について学ぶ。</li> </ul>
3	屈折異常Ⅰ	遠視、近視について学ぶ。
4	屈折異常Ⅱ	乱視について学ぶ。
5	屈折異常Ⅲ	不同視、不等像視について学ぶ。
6	クロスダイヤグラム	クロスダイヤグラムについて学ぶ。
7	スタームのコノイド	スタームのコノイドについて学ぶ。
8	他覚的屈折検査Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他覚的屈折検査について学ぶ。</li> <li>・オートレフラクトメータの結果の読み方について学ぶ。</li> </ul>
9	他覚的屈折検査Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検影法の測定方法について学ぶ。</li> <li>・検影法を用いて屈折度を求める。</li> </ul>
10	自覚的屈折検査Ⅰ	球面レンズを用いた屈折矯正について学ぶ。
11	自覚的屈折検査Ⅱ	円柱レンズを用いた屈折矯正について学ぶ。
12	調節Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模型眼の主な数値と調節の光学的変化について学ぶ。</li> <li>・調節機能、調節検査について学ぶ。</li> </ul>
13	調節Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老視について学ぶ。</li> <li>・調節力の計算を行い、明視域を求める。</li> </ul>
14	屈折矯正	<ul style="list-style-type: none"> <li>・眼鏡レンズとコンタクトレンズの違いについて学ぶ。</li> <li>・屈折矯正術について学ぶ。</li> </ul>

コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
15	筆記試験・まとめ	・筆記試験を行う。 ・まとめを行う。

シラバスデータ		2023/4/1
科目名	生理光学基礎演習	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	生体計測と視力検査、他覚的屈折検査の基本的な測定方法や検査条件を理解することを目的とする。
学年	1年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期	・グループでの演習で、生体計測や裸眼視力検査の方法について学習する。他覚的屈折検査の測定と結果の読み取りについて学習する。
授業回数	15回	
授業形態	演習	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	・生体計測を行うことができる。 ・裸眼視力の測定及び結果の記載をすることができる。 ・他覚的屈折検査の結果からクロスダイヤグラムを記載することができる。
授業担当者	☆太田 陸 鈴木 ほまれ	
実務家教員	○	診療所における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学 第3版(文光堂)、屈折異常とその矯正 改訂第7版(金原出版)、眼科検査ガイド 第3版(文光堂)	
評価方法	筆記試験、実技試験による総合評価とする。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	実習室の使い方 生体計測(講義)	・実習室の使い方について学ぶ。 ・生体計測(瞳孔間距離、眼球突出、瞼裂幅、眼瞼挙筋機能、瞳孔径)を測定する。
2	裸眼視力Ⅰ(講義)	・0.1以上の視力検査(字づまり視力)について学ぶ。 ・検査結果の記載法について学ぶ。
3		
4	裸眼視力Ⅱ(講義)	・0.1未満の視力検査(字ひとつ視力)について学ぶ。 ・0.01未満の視力検査(指数弁、手動弁、光覚)について学ぶ。
5		
6	他覚的屈折検査(講義)	・オートレフラクトメータ、ケラトメータを測定し、結果を読み取る。 ・球面レンズと円柱レンズの作用を理解し、さらにレンズ式を記載する。 ・レンズ式からクロスダイヤグラムを記載する。
7		
8	生体計測(実技) 裸眼視力(実技) 他覚的屈折検査(実技)	ペアで互いの検査を行う。 ※常に眼科外来を想定しての実習となるため、言葉使い、患者説明等しっかり行うこと。
9		
10		
11		
12		
13		
14	実技試験・講評	・実技試験とその講評を行う。
15	筆記試験	・筆記試験を行う。

科目名	公衆衛生概論	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	公衆衛生学の基本的事項を理解するとともに視能訓練士が果たすべき役割について考える力を培うことを目的とする。
学年	1年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期	公衆衛生学は、社会や集団を対象にした医学である。個人の健康を対象にした臨床医学に対し、社会全体から心身の疾病の予防や健康増進に係わる。保健医療、社会福祉、環境保全など多岐にわたる内容から構成されている。基本的事項を理解するとともに視能訓練士が果たすべき役割について考える力を培うことを目標とする。
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	・地域で生活する人々の疾病予防及び健康増進のための環境整備や健康管理を地域社会全体の視点で捉えるという公衆衛生的な考え方を身につける。
授業担当者	☆荒尾 浩子	・医療・福祉制度について概説できる。 ・健康・疾病・障害と生活の関わりの基礎的な概念を習得する。
実務家教員	○	保健師及び看護学校講師としての実務経験
使用テキスト 参考文献	公衆衛生がみえる2022-2023(MEDIC MEDIA)	
評価方法	授業態度、出席状況およびレポート、小テストの成績で総合評価する。	

コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1.2	公衆衛生の概念・健康の概念	公衆衛生、健康の概念について学ぶ。
3.4.5	保健統計・疫学	健康・疾病・行動にかかわる統計資料について学ぶ。
6.7	保健、医療、福祉の制度、地域保健①	保健、医療、福祉の制度について学ぶ。
8.9	環境保健	環境保健について学ぶ。
10.11	感染症・食中毒	感染症と食中毒について学ぶ。
12	保健、医療、福祉の制度、地域保健②	保健、医療、福祉の制度について学ぶ。
13.14	成人保健・母子保健・学校保健	成人保健、母子保健、学校保健について学ぶ。
15	産業保健、全体のまとめ	産業保健について学ぶ。全体のまとめを行う。

科目名	基礎視能矯正学1	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	視能矯正の基礎を理解するために必要な両眼視についての知識の習得と基本的な斜視を知る。
学年	1学年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期	パナムの融像感覚圏、正常両眼視機能の成立条件と発達、網膜対応の種類、内斜視、外斜視について学ぶ。
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	正常両眼視機能の成立条件と発達について説明できる。 網膜対応の種類を説明できる。 内斜視、外斜視の種類と臨床所見を挙げることが出来る。
授業担当者	鈴木 ほまれ	
実務家教員	○	大学病院・総合病院における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学 第3版(文光堂)、視能矯正学 第3版(金原出版)	
評価方法	定期試験(筆記試験)で評価する	

## コマシラバス

90分/コマ	テーマ	内容
1	両眼視機能	正常両眼視機能の定義と種類
2		正常両眼視機能の成立条件
3		異常な両眼視機能(複視)
4		異常な両眼視機能(網膜対応異常、抑制、混乱視)
5	斜視の定義	斜視の定義
6	内斜視	乳児内斜視と後天基礎型内斜視の病因、臨床所見
7		調節性内斜視の種類と病因、臨床所見
8		調節性内斜視の種類と病因、臨床所見
9		その他の内斜視の種類と病因、臨床所見
10	外斜視	間欠性外斜視の分類と病因、臨床所見
11		間欠性外斜視の分類と病因、臨床所見
12		その他の外斜視の種類と病因、臨床所見
13	偽斜視	偽斜視の要因
14	まとめ	これまで学んだポイントを確認する
15	定期試験と解答解説	筆記試験にて知識の確認・解答解説

科目名	基礎視能矯正学2	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	筋原性斜視、機械的斜視、その他の斜視、眼振について知る。
学年	1学年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	後期	筋原性斜視、機械的斜視、その他の斜視、眼振の病因、臨床所見、鑑別に必要な検査を学ぶ。
授業回数	30回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	4単位	筋原性斜視、機械的斜視、その他の斜視、眼振のそれぞれの種類を挙げるとともにその発生機序、臨床所見を説明できる。 また、診断に必要な検査を挙げることが出来る。
授業担当者	鈴木 ほまれ	
実務家教員	○	大学病院・総合病院における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学 第3版(文光堂)、視能矯正学 第3版(金原出版)	
評価方法	定期試験(筆記試験)で評価する	

コマシラバス

90分/コマ	テーマ	内容
1	筋原性斜視	重症筋無力症、慢性進行性外眼筋麻痺の鑑別と病因、臨床所見について学ぶ 診断に必要な検査(瞼裂幅測定)を体験する
2		
3		甲状腺眼症、外眼筋炎の鑑別と病因、臨床所見について学ぶ 診断に必要な検査(眼球突出測定)を体験する
4		
5		固定内斜視、sagging eye syndromeの鑑別と病因、臨床所見について学ぶ 診断に必要な検査(眼球運動)を体験する
6		
7		Brown症候群の病因、臨床所見について学ぶ 診断に必要な検査(9方向眼位写真撮影)を体験する
8		
9		外眼筋線維症の病因、臨床所見について学ぶ
10	機械的斜視	眼窩壁骨折の病因、臨床所見について学ぶ
11	まとめ	筋原性斜視と機械的斜視のまとめ
12		
13	その他の斜視	Duane症候群の病因、臨床所見について学ぶ
14		
15		交代性上斜位の病因、臨床所見について学ぶ
16		
17		AV型斜視の病因、臨床所見について学ぶ
18		
19		
20		
21		微小斜視の病因、臨床所見について学ぶ 診断に必要な検査(4∟基底外方試験、網膜対応検査、立体視検査)を体験する
22		
23		まとめ
24		
25	眼振	眼振の種類、発生機序、臨床所見について学ぶ
26		
27	症例検討	これまでの知識を基に疑われる疾患、検査の流れを考える
28		
29		
30	定期試験と解答解説	筆記試験にて知識の確認・解答解説



シラバスデータ		2023/4/1
科目名	基礎神経眼科学	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	神経眼科学の基礎となる解剖や生理学を学ぶ。 外眼筋の作用と運動についての基礎を学ぶ。
学年	1学年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	後期	神経眼科学の基礎となる神経や眼筋の構造と機能を学ぶ。眼球運動経路の解剖・生理の基礎を理解し、外眼筋の作用と眼球運動の神経眼科学的基礎事項を学習する。外眼筋の作用方向に関して説明する。視神経疾患に関して説明する。外眼筋麻痺に関して説明する。
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	外眼筋の作用方向を理解する。 核上性、核下性疾患を理解する。
授業担当者	佐野 智久	
実務家教員	○	総合病院・診療所における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学 第2版(文光堂) 視能矯正学 第3版(金原出版)	
評価方法	授業態度、出席率、テストによる総合評価とする。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	概要・神経基礎	基礎神経について・神経の基本的なことについて学ぶ
2	脳と神経	脳神経の基礎、眼科に関わる脳神経について学ぶ
3	眼球運動系	眼球運動のしくみについて学ぶ
4	眼球運動神経核	眼球運動の神経核について学ぶ
5	外眼筋	外眼筋について学ぶ
6	眼の自律神経	眼の自律神経 瞳孔・調節・輻湊について学ぶ
7	瞳孔	対光反射、瞳孔偏位・多瞳孔・病的散瞳について学ぶ
8	瞳孔の異常	病的縮瞳・対光反射異常などについて学ぶ
9	核上性異常	核上性異常について学ぶ
10	核関連の異常	核・核間・核下性の異常について学ぶ
11	視神経疾患	視神経の解剖、疾患について学ぶ
12	視路疾患	視路の疾患と視野の関係について学ぶ
13	眼振	眼振について学ぶ
14	まとめ	今まで習ったものを復習する
15	テストと振り返り	神経眼科学の基礎のテストと振り返り

シラバスデータ		2023/4/1
科目名	基礎視能矯正学演習1	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	視能矯正に必要な固視検査と眼位検査を学ぶ。
学年	1学年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	後期	固視検査の種類・手技とともに、正常と異常を学ぶ。 大型弱視鏡、遮閉試験の検査目的・対象・条件・手技を学ぶ。
授業回数	31回	
授業形態	演習	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	4単位	症例に合わせて眼位検査を選択し、定性・定量ができる。
授業担当者	鈴木 ほまれ 佐野 智久	
実務家教員	○	大学病院・総合病院における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学 第3版(文光堂)、視能矯正学 第3版(金原出版)、眼科検査ガイド 第3版(文光堂)	
評価方法	定期試験(筆記試験・実技試験)で評価する	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	固視検査(講義) 眼位検査(講義)	Aグループ:固視検査(直像鏡・コージナートル) Bグループ:間接的固視検査法、Hirschberg法、Krimsky法
2		
3		Aグループ:間接的固視検査法、Hirschberg法、Krimsky法 Bグループ:固視検査(直像鏡・コージナートル)
4		
5		
6		Aグループ:大型弱視鏡 Bグループ:Hirschberg法、Krimsky法、遮閉試験
7		
8		
9		
10		Aグループ:Hirschberg法、Krimsky法、遮閉試験 Bグループ:大型弱視鏡
11		
12		
13	固視検査(実技練習) 眼位検査(実技練習)	ペアで互いの検査を行う。 ※常に眼科外来を想定しての実習となるため、言葉使い、患者説明等をしっかり行うこと。
14		
15		
16		
17		
18		
19		ペアで互いの検査を行う。 ※常に眼科外来を想定しての実習となるため、言葉使い、患者説明等をしっかり行うこと。 実技チェック Hirschberg法、Krimsky法、遮閉試験 1人15分を目安
20		
21		
22		
23		
24		
25		ペアで互いの検査を行う。 ※常に眼科外来を想定しての実習となるため、言葉使い、患者説明等をしっかり行うこと。 <b>29コマ目の開始時にレポートを提出(レポートが未提出の場合は実技試験は受験不可となります。)</b>
26		
27		
28		
29		実技試験
30		
31	定期試験と解答解説	筆記試験にて知識の確認・解答解説

シラバスデータ		2023/4/1
科目名	視覚生理学1	
年度	2022年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	眼の光学系、視覚伝導系、運動系からなる視覚系および電気生理について学び、視能訓練士として必要な知識を身につける。
学年	1年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	後期	視覚は、眼の光学系・視覚伝達系及び目の運動系(眼球運動・瞳孔運動・調節・開閉運動)からなり、脳で統合される情報処理機構であることを統合的に理解し、視覚経路の生理・解剖、視覚生理学の基礎を学習する。
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視力と網膜の関係について説明できる</li> <li>・色の知覚、異常について説明できる</li> <li>・視路と視野の関係を説明できる</li> <li>・視野、視野異常について説明できる</li> <li>・明順応、暗順応について説明できる</li> </ul>
授業担当者	☆星野 貴大	
実務家教員	○	総合病院における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学第2版(文光堂)、眼科検査ガイド第2版(文光堂)	
評価方法	筆記試験	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	視覚生理の基礎	視覚生理の基礎について学ぶ。
2		視覚の成り立ちについて学ぶ。
3	視力・形態覚	視力・形態覚について学ぶ。
4		視力検査法について学ぶ。
5		視力の影響因子について学ぶ。
6	特殊な視力検査	対数視力、コントラスト視力、縞視力、小児視力について学ぶ
7	限界フリッカ	限界フリッカの仕組み、検査法について学ぶ
8	視野	視野検査について学ぶ。
9		視野異常について学ぶ。
10		静的視野と動的視野の違いを学ぶ。
11		視野の検査方法を学ぶ。
12		視野の検査方法を学ぶ。
13		光覚
14	色覚	色覚、色覚検査について学ぶ。

コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
15	期末試験と解答・解説	筆記試験と解答・解説を行う。

シラバスデータ		2023/4/1	
科目名	生理光学演習		
年度	2023年度	授業の目的・ねらい	
学科	視能訓練士学科	生理光学的矯正を学習し、演習によって理論を理解し、測定技術を身につけることを目標とする。	
学年	1年		
コース	－	授業全体の内容の概要	
開講時期	後期	実践に必要な生理学的検査他覚的屈折矯正、自覚的屈折矯正、レンズメーターなど生理光学的矯正を学習し、演習によって理論を理解し測定技術を身につけることを目標とする。	
授業回数	30回		
授業形態	演習	授業修了時の達成課題(到達目標)	
取得単位数	4単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自覚的屈折検査の理論を理解し測定することができる。</li> <li>・他覚的屈折検査の理論を理解し測定することができる。</li> <li>・レンズメーターで種々の眼鏡の測定ができる。</li> </ul>	
授業担当者	☆太田 陸 星野貴大		
実務家教員	○	総合病院・診療所における視能訓練士としての実務経験	
使用テキスト 参考文献	視能学(文光堂)、屈折異常とその矯正(金原出版)、眼科検査ガイド(文光堂)		
評価方法	実技試験、筆記試験によって総合的に評価		
講義内容			
90分/コマ	テーマ	内容	
1	屈折矯正(講義) 検影法(講義)	Aグループ:球面レンズによる屈折矯正 Bグループ:検影法	
2		Aグループ:検影法 Bグループ:球面レンズによる屈折矯正	
3			
4		Aグループ:乱視表による屈折矯正 Bグループ:クロスシリンダーによる屈折矯正	
5			
6			
7			
8		Aグループ:クロスシリンダーによる屈折矯正 Bグループ:乱視表による屈折矯正	
9			
10			
11			
12			
13	レンズメータ(講義) 調節機能検査(講義)		Aグループ:レンズメータ Bグループ:調節機能検査(石原式近点計)
14		Aグループ:調節機能検査(石原式近点計) Bグループ:レンズメータ	
15			
16			
17	<p>ペアで互いの検査を行う。 ※常に眼科外来を想定しての実習となるため、言葉使い、患者説明等しっかり行うこと。</p> <p>27コマ目の終了時にレポートを提出(レポートが未提出の場合、実技試験は受験不可となります。)</p> <p>実技チェック ①乱視表による屈折矯正 ②クロスシリンダーによる屈折矯正</p>		
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28		実技試験・講評	実技試験を行う、その後講評
29			
30	筆記試験・まとめ	筆記試験を行う、その後まとめ	

シラバスデータ		2023/4/1
科目名	眼疾病学総論	
年度	2022年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	眼科の疾患について、基本的な知識を身につける
学年	1年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	後期	眼科的疾患及び眼科関連全身疾患について基本的な部分を学習し、疾患の名称、病態を理解する。
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	一般的な眼科疾患の名称、病態を理解する
授業担当者	星野 貴大	
実務家教員	○	総合病院における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学 第2版(文光堂)	
評価方法	授業態度、筆記テストにより総合的に評価する。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	角膜・結膜①	角膜・結膜疾患について学ぶ
2	角膜・結膜②/強膜・ぶどう膜①	角膜・結膜疾患と強膜・ぶどう膜疾患について学ぶ
3	ぶどう膜②	強膜・ぶどう膜疾患について学ぶ
4	水晶体	水晶体疾患について学ぶ
5	緑内障①	緑内障について学ぶ
6	緑内障②	緑内障について学ぶ
7	網膜・硝子体①	網膜剝離・硝子体疾患について学ぶ
8	網膜・硝子体②	網膜循環障害について学ぶ
9	網膜・硝子体③	網膜黄斑部疾患について学ぶ
10	網膜・硝子体④	網膜変性疾患・硝子体疾患について学ぶ
11	視神経	視神経疾患について学ぶ
12	眼瞼/涙器	眼瞼疾患、涙器疾患について学ぶ
13	眼窩	眼窩疾患について学ぶ
14	腫瘍/外傷/全身と眼	腫瘍、眼外傷、全身疾患と眼の関係を学ぶ
15	テストと振り返り	筆記テストと振り返りを行う

シラバスデータ		2023/4/1
科目名	ゼミナール1	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	マナー検定や臨地実習の準備を行うことで、学生生活への不安を解消する。 また、医療人として必要な資質を身につける。
学年	1学年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期・後期	専門教科を学ぶ上での自分に合った効果的な学習方法を考える。また、眼科領域での接遇、感染症、点眼薬などの基本的知識を習得することで臨地実習に備える。
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	目指す将来像を自分の言葉で説明できる。 臨地実習で求められる知識、身なり、マナーを理解し、実践できる。
授業担当者	鈴木ほまれ 太田 陸	
実務家教員	○	診療所における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献		
評価方法	課題提出と出席率とで評価する	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	効果的な学習方法	自分の勉強方法を振り返り、自分に合った方法を知る
2		専門教科を学ぶために不可欠な準備とは何かを知る
3	マナー検定準備	過去問題から必要な知識を確認する
4		過去問題から必要な知識を確認する
5	臨地実習準備	眼科領域での感染症と点眼薬の基本知識を学ぶ
6		先輩から学ぶ臨地実習
7		医療現場での適切な接遇を考える
8		年齢に合わせた接遇を学ぶ
9		臨地実習記録の書き方について学ぶ
10		臨地実習記録の書き方について学ぶ
11		臨地実習の流れ、注意事項の確認
12		臨地実習に向けての決意表明
13	臨地実習振り返り	臨地実習の振り返りをクラスで共有し次年度の課題を見つける
14	解答・解説作成	解答・解説の作成方法について

15	国家試験対策支援	春季課題について
----	----------	----------





--	--	--

シラバスデータ		2022/4/1
科目名	臨地実習1	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	眼科外来における主な業務の流れを知り、視能訓練士の業務内容を把握できるようにする
学年	1年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	後期	各施設において、眼科診察の検査、接遇、チーム医療について実践的に学ぶ
授業回数	5日(35時間)	
授業形態	学外実習	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	1単位	現場でしか学べない多くの知識・技術・態度を身につける
授業担当者	鈴木 ほまれ 佐野 智久 太田 陸 星野 貴大	
実務家教員	○	大学病院・総合病院における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献		
評価方法	実習評価表をもとに事前事後指導・巡回時の様子など、総合的に判断する。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
	臨地実習	総合病院や医院等、様々な施設を経験することにより、疾患やシステムの違い等を学ぶ。 問診、検査指示、検査結果、治療の流れを学ぶ。